

令和6年度
明るい地域づくり功労賞表彰

政策推進課 6階
 0287-23-8761

本市では、芸術、科学、文化、スポーツ、産業などの分野で市民の誇りとなる顕著な功績を挙げ、本市の名声を高めた個人または団体などに対し、その栄誉を称え表彰を行っています。

今年度は次の19名1団体の方々を表彰しました。

氏名など	功績
岩城 善広 氏	令和6年度全国優良経営体表彰 全国担い手育成総合支援協議会会長賞
大田原とうがらしの郷づくり推進協議会	令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業 農林水産大臣賞
吉成 浩昭 氏	第11回日展 第2科洋画部門 特選
角谷 琴音 氏	第77回二紀展 彫刻の部 恩田賞
小西 陽暖 氏	第49回全日本スポーツチャンバラ選手権大会 長剣フリー(6~10級) 優勝
大槻 すみれ 氏	第25回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA 小学5・6年生部門 金賞
石川 世清 氏	第24回毎日パソコン入力コンクール全国大会 内閣総理大臣賞
永倉 辰規 氏	文部科学大臣杯第66回小学生中学生全国空手道選手権大会 団体戦中学生男子組手の部 優勝
人見 明咲 氏	文部科学大臣杯第66回小学生中学生全国空手道選手権大会 団体戦中学生女子組手の部 準優勝
八木沢 涼奏 氏	IBKO 第2回ワールドカップ空手道選手権 型の部 小2 準優勝
船山 結菜 氏	IBKO 第2回ワールドカップ空手道選手権 型の部 小5女子 準優勝
八木沢 実琴 氏	IBKO 第2回ワールドカップ空手道選手権 型の部 中1女子 準優勝

氏名など	功績
本田 逞 氏	オールジャパンベースボールリーグ中等部2024全国大会 優勝(B-スピリッツ)
千葉 嵩仁 氏	
磯 涼介 氏	
稲葉 宗士 氏	
飯塚 大凱 氏	
君島 夢翔 氏	
仁平 愛海 氏	
君島 冬真 氏	



コラム～見つけました ささえ愛～ Vol.36

「なごみの広場」(佐久山地区)

第2層の協議体委員長と生活支援コーディネーターで、県の発表会に参加した際に、下野市内の公園で無料相談会を開催している事業が目にとまり、地区でも取り入れたいと考えたそうです。

協議体で話し合いを重ね、地域の皆さまの身近な相談の場として「なごみの広場」を佐久山ほほえみセンターで開設する事になりました。地区民生委員・児童委員や西部地域包括支援センター職員、大田原市社会福祉協議会職員が、健康相談、誰かと話したい、友達を作りたい、こどもの心配事などに応じるそうです。

参加された方は、「民生委員さん同士の情報交換の場にもなり助かる」と話されていました。

予約や事前の申し込みの必要はありません。こどもから高齢者までどなたでも参加いただけます。

●日時 毎月第4㊥ 9:30～11:30 ●場所 佐久山高齢者ほほえみセンター

大田原市社会福祉協議会 0287-23-1130



令和7年4月からの 行政組織と電話番号をお知らせします

☎総務課 本6階 TEL 0287-23-8702

※青字は昨年度から変更のあった組織です。

総合政策部	政策推進課	本6階	23-8701	政策企画係 TEL 23-8701・政策推進係 TEL 23-8793・市民協働係 TEL 23-8715 秘書室秘書係 TEL 23-8761
	情報政策課	本6階	23-8766	デジタル推進係 TEL 23-8959・情報システム係 TEL 23-8766・広報広聴係 TEL 23-8700 統計係 TEL 23-1951
	危機管理課	本3階	23-1115	防災係 TEL 23-1115・地域安全係 TEL 23-9301
経営管理部	総務課	本6階	23-8702	総務法規係 TEL 23-1111・人事係 TEL 23-8702・職員係 TEL 23-8702 管財係 TEL 23-8795・資産活用担当 TEL 53-7139
	財政課	本6階 本8階	23-8797[財政] 23-8189[検査]	財政係 TEL 23-8797・契約係 TEL 23-8189・検査係 TEL 23-8189
	税務課	本2階	23-8785	税制係 TEL 23-8785・市民税係 TEL 23-8725・資産税土地係 TEL 23-8726 資産税家屋係 TEL 23-8864・収納管理係 TEL 23-8639・徴収対策係 TEL 23-8703
保健福祉部	健康政策課	本3階	23-8704	健康政策係 TEL 23-8704・成人健康係 TEL 23-7601
	福祉課	本3階	23-8707	社会福祉係 TEL 23-8707・生活福祉係 TEL 23-8637・障害支援係 TEL 23-8954 障害福祉係 TEL 23-8921・重層支援係 TEL 53-7156
	子ども支援課	本3階	23-8932	給付係 TEL 23-8932・子ども家庭相談係 TEL 23-8792・母子健康係 TEL 23-8634
	保育課	本3階	23-8769	保育係 TEL 23-8769・保育環境係 TEL 23-8601・しんとみ保育園 TEL 22-2402 すさぎ保育園(休園中)
	高齢者幸福課	本3階	23-8740	高齢支援係 TEL 23-8740・介護管理係 TEL 23-8865・介護認定係 TEL 23-8927 介護給付係 TEL 23-8678・地域支援係 TEL 23-8757
市民生活部	国保年金課	本2階	23-8928	管理係 TEL 23-8928・国保年金係 TEL 23-8857・賦課係 TEL 23-1120
	市民課	本2階	23-8705	戸籍係 TEL 23-8705・市民係 TEL 23-8752
	生活環境課	本2階	23-8706	生活交通係 TEL 23-8832・環境保全係 TEL 23-8775・廃棄物対策係 TEL 23-8706
	湯津上支所 総合窓口課	湯1階	98-2111	総合窓口係 TEL 98-2111
	黒羽支所 総合窓口課	黒1階	54-1111	管理係 TEL 54-1111・市民福祉係 TEL 54-1112・54-1113
産業文化部	農政課	本4階	23-8708	農政係 TEL 23-8708・農産園芸係 TEL 23-8292
	農林整備課	本4階	23-8126	農村整備係 TEL 23-8126・農村環境対策係 TEL 23-8813・林業振興係 TEL 23-8012
	商工観光課	本4階	23-8709	商工振興係 TEL 23-8709・企業立地担当 TEL 23-3144・観光交流係 TEL 23-3145
	文化振興課	本4階	23-3129	文化振興係 TEL 23-3129・文化財係 TEL 23-3135・文化施設係 TEL 23-3135 学芸企画担当(芭蕉の館) TEL 54-4151
建設部	道路課	本5階	23-8710	企画係 TEL 23-8710・道路係 TEL 23-8710・用地係 TEL 23-8710・管理係 TEL 23-8717 維持係 TEL 23-8717
	都市計画課	本5階	23-8711	都市計画係 TEL 23-8711・都市施設係 TEL 23-1309・開発指導係 TEL 23-8758 地籍調査係 TEL 23-8961
	建築住宅課	本5階	23-8724	住宅政策係 TEL 23-8724・建築係 TEL 23-8733・指導係 TEL 23-1178 審査係 TEL 23-1178
水道局	上下水道課	本5階	23-8713[水道] 23-8712[下水道]	水道管理係 TEL 23-8713・水道工務係 TEL 23-8713・水道施設係 TEL 23-8713 水道料金担当 TEL 23-8713 下水道管理係 TEL 23-8712・下水道工務係 TEL 23-8712・下水道維持係 TEL 23-8712
会計課	本2階	23-8722	会計係 TEL 23-8722	
議会事務局 議事課	本7階	23-8714	議事係 TEL 23-8714	
監査委員・選挙管理委員会 公平委員会事務局	本8階	23-8736	監査係 TEL 23-8736・選挙係 TEL 23-8736	
農業委員会事務局	本4階	23-8716	農業振興係 TEL 23-8716・農地調整係 TEL 23-8716	
教育部	教育総務課	本4階	23-3111	総務係 TEL 23-3111・学校再編整備担当 TEL 23-3111・教育施設係 TEL 23-3112 教育施設管理担当 TEL 23-3112・学校給食センター TEL 54-0183
	学校教育課	本4階	23-3124	学校支援係 TEL 23-3124・学校教育係 TEL 23-3125
	生涯学習課	本4階	23-2100	生涯学習係 TEL 23-2100・中央公民館係 TEL 23-2005
	スポーツ振興課 (県北体育館)	本1階	22-8017	管理係 TEL 22-8017・市民スポーツ係 TEL 22-8017

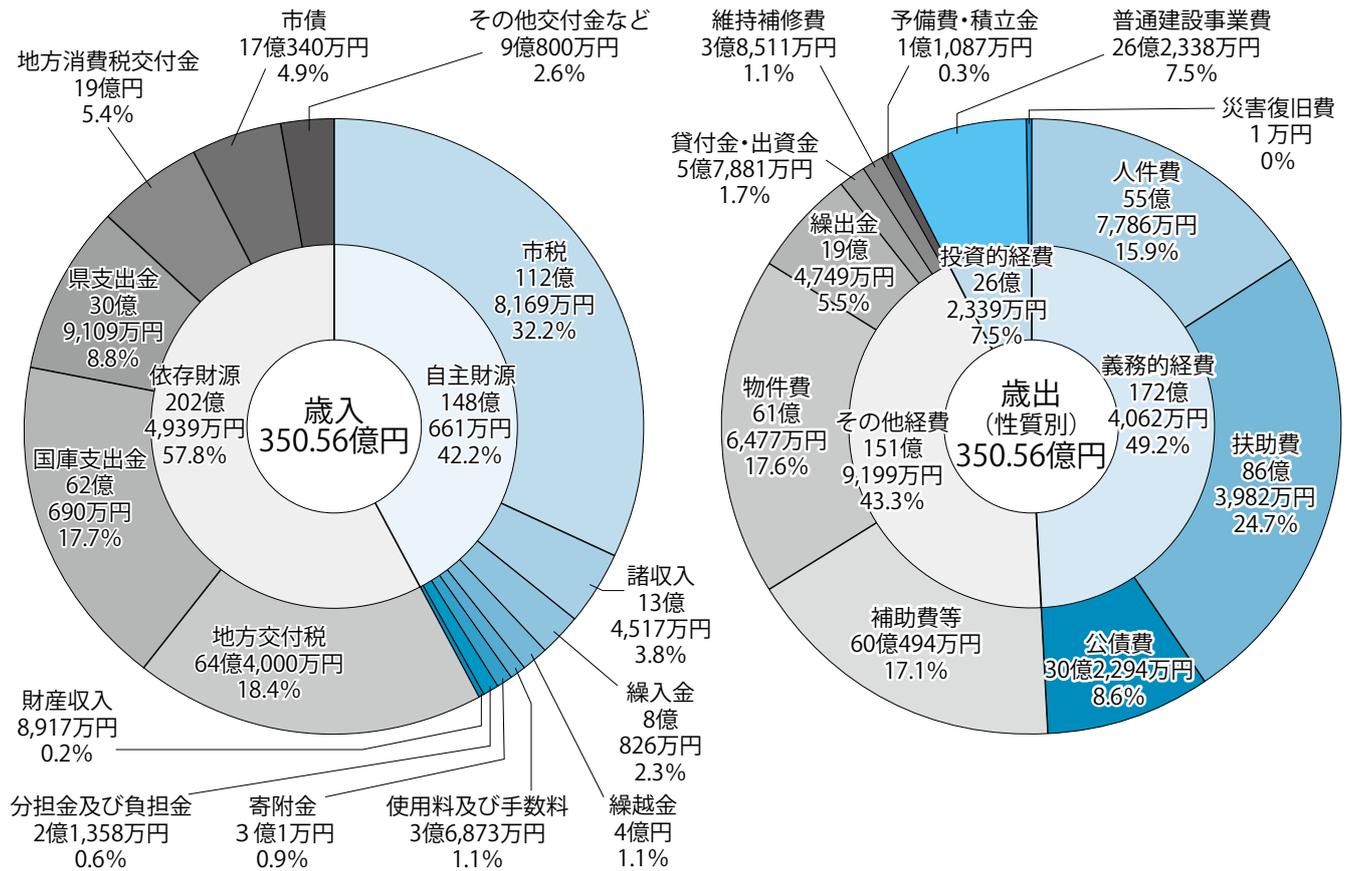
一般会計当初予算額は「350億5,600万円」
令和7年度当初予算の概要

問財政課 本6階
TEL 0287-23-8797

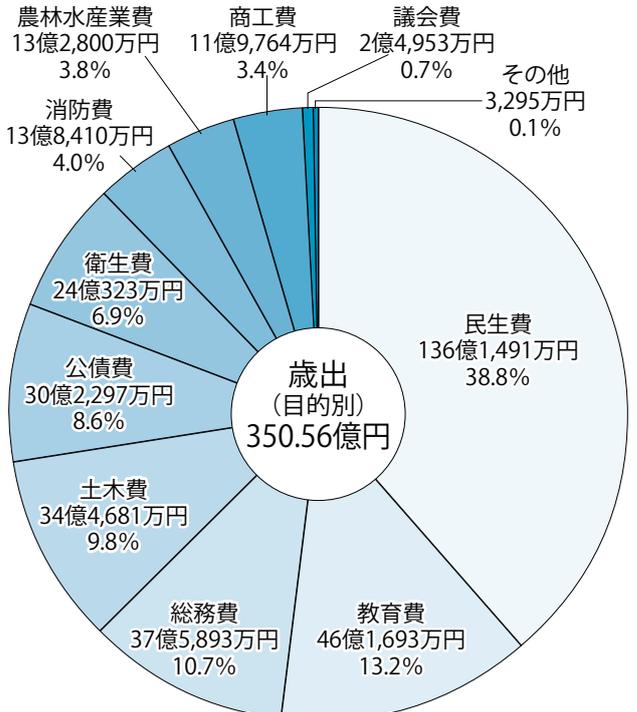
令和7年度予算は、文部科学省が推進する「GIGA スクール構想」の実現に向けて全小中学校の学習用端末を更新するとともに、小中学校の校舎や屋内運動場のトイレ洋式化と特別教室に空調設備を設置するなど、こどもたちの安全・安心で快適な教育環境を整備するための経費の拡大を図りました。

また、物価高騰対策として市民1人当たり2千円分の大田原市地域応援商品券を配布、美原公園をはじめとする公共施設の再整備などハード面への投資、新たな取り組みとして「大田原の魅力“彩”発見フォトコンテスト」などを開催し、本市の魅力発掘や情報発信の強化を図るための経費を盛り込んだ予算を編成し、一般会計の当初予算額は、前年度と比較して、20億7,700万円、6.3%増の350億5,600万円となりました。

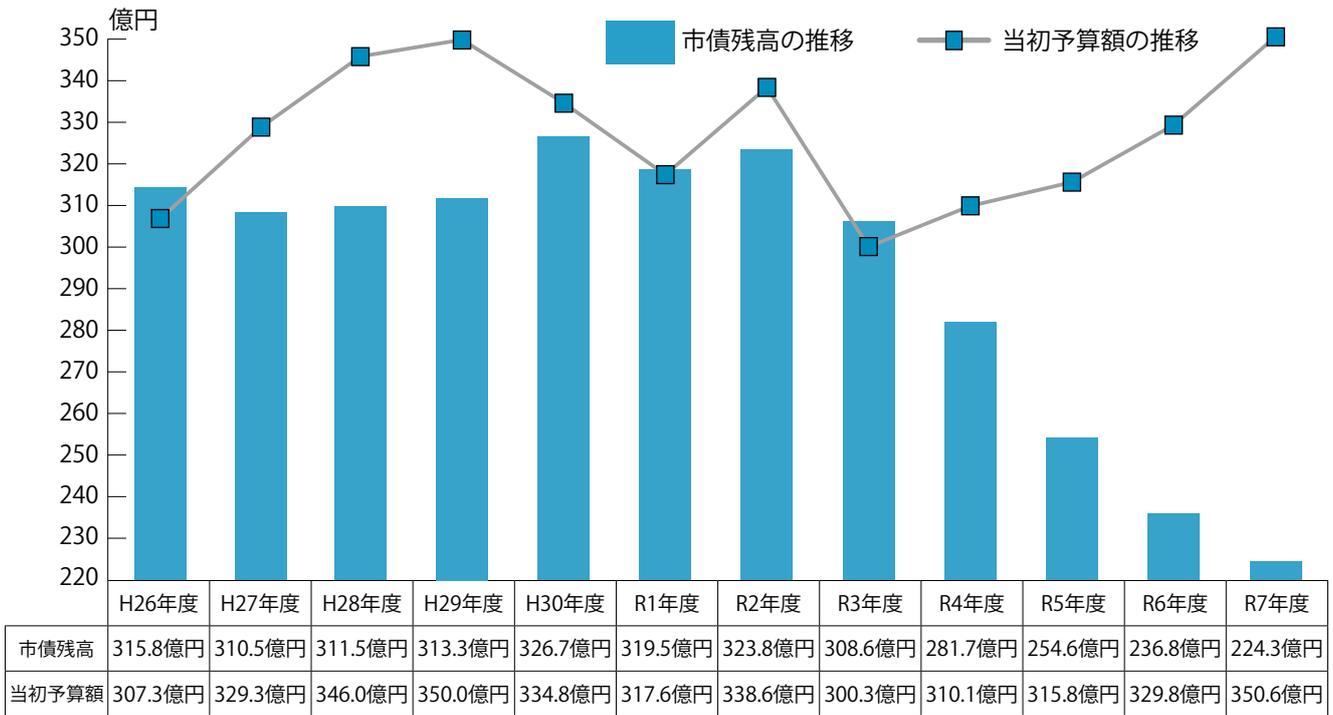
歳入の大部分を占める市税は、前年度予算と比較して4.2%増の112億8,169万3千円を見込んでいますが、その他国県支出金や交付税などの歳入については、国の地方財政計画などを考慮し、それぞれ適切に編成しています。



用語解説	
自主財源	市が自主的に収入できる財源
依存財源	国や県などから交付されたり、割り当てられたりする財源
市税	市民税、固定資産税、軽自動車税など、市に納めていただく税金
繰入金	他会計や基金(預金)などから一般会計に繰り入れする資金
繰越金	前年度の余剰金など
財産収入	市の財産の貸し付けや売り払いによる収入
地方交付税	市の財政が一定水準を維持できるよう、国から交付されるもの
市債	公共施設の建設などのために、国や金融機関から借り入れるお金
人件費	市長、市議会議員などの報酬や一般職員の給料など
扶助費	生活保護、児童福祉、高齢者福祉など要援助者に支出する経費
公債費	借り入れをした元金や利子の償還金
補助費等	各種団体などへの負担金や補助金、報償金など
物件費	消耗品費、光熱水費、委託料、使用料など
繰出金	一般会計から特別会計や企業会計へ支出される経費
貸付金・出資金	各種団体などへの貸付金、出資金
維持補修費	施設維持のための補修費
予備費	用途を特定しないで計上し、不測の事態に対応するための経費
積立金	各種積立金
普通建設事業費	道路、学校、公共施設などの建設経費など
災害復旧費	災害を受けた施設などを復旧するための経費



■一般会計の当初予算額と市債残高の推移



※市債残高は、令和5年度までは決算額、令和6年度は決算見込額、令和7年度は当初予算額です。

■特別会計・企業会計

特別会計は、前年度と比較して1億3,933万円の増額となりました。増額の主な要因として、介護保険特別会計において、報酬改定などの影響により、保険給付費の増加が見込まれることなどがあげられます。

企業会計は、前年度と比較して1億9,000万円の増額となりました。増額の主な要因として、水道事業会計における資本的支出が、水道施設の耐震化および基幹管路、老朽管、機械設備などの更新による費用の増加などにより2億8,700万円の増額となったことなどがあげられます。

特別会計	当初予算額	前年度比
国民健康保険事業費	75億8,300万円	1.1%減
介護保険	76億1,150万円	3.2%増
子育て支援券	1,623万円	8.2%減
後期高齢者医療	9億6,568万円	0.4%増
須賀川財産区	4,120万円	27.3%減

企業会計	当初予算額	前年度比
水道事業	26億7,500万円	13.1%増
下水道事業	30億円	3.8%減

🔪 よいち家・1か月の家計簿 (円)

家庭の家計と市の財政では、規模もお金の使い道も違うため、単純に比較はできませんが、令和7年度一般会計当初予算(350億5,600万円)を、県内で平均的とされる年収500万円(1か月あたり約34万円)の世帯に例えてみました。

収入面では、「借金(市債)」、「親からの援助(地方交付税・国県支出金など)」および「貯金の取り崩し(基金繰入など)」など全体的に増加しています。

支出面では、「光熱水費などの雑費(物件費など)」、「家・車などの修理・買い替え(普通建設事業費など)」が増加した一方、「ローンの返済(公債費)」が減少しています。

👉 入ってくるお金 合計 34万円

給料(市税)	10万9,000円	(+ 1,000円)
パート収入(使用料など)	6,000円	(± 0円)
親からの援助(地方交付税・補助金など)	18万円	(+ 2,000円)
貯金の取り崩し(繰入金など)	8,000円	(+ 2,000円)
借金(市債)	1万6,000円	(+ 3,000円)
その他	2万1,000円	(+ 2,000円)

👈 使うお金 合計 34万円

食費(人件費)	5万4,000円	(± 0円)
家族の医療費(扶助費)	8万4,000円	(△ 1,000円)
ローンの返済(公債費)	2万9,000円	(△ 3,000円)
光熱水費などの雑費(物件費など)	6万円	(+ 8,000円)
知人への援助費など(補助費など)	5万8,000円	(+ 1,000円)
家・車などの修理・買い替え(普通建設事業費など)	2万9,000円	(+ 4,000円)
子どもたちへの仕送り(繰出金)	1万9,000円	(± 0円)
貯金や知人への貸付など(貸付金・積立金など)	7,000円	(+ 1,000円)

※()内は前年度比